

令和2年度第2回利根町地域公共交通会議 議事要約

【日 時】令和3年3月22日（月） 午後2時～午後3時

【場 所】利根町役場 会議室5-A

＜配布資料＞

- ・会議次第
- ・委員名簿
- ・会議資料1 周辺交通量の変化
- ・会議資料2-1 車種別グラフ
- ・会議資料2-2 交通量調査（茨城→千葉方面）
- ・会議資料3-1 栄橋通過所要時間調査結果報告書
- ・会議資料3-2 栄橋南詰から各地点の距離
- ・会議資料4 利用者アンケート調査報告書
- ・会議資料5 無料措置の効果検証について

【出席者】伊藤委員，竹田委員，板谷委員，牧瀬委員，中村委員（代理出席 酒井様），土井委員，赤根委員，飯野委員，新井委員，岩戸委員，海老澤委員，川上（叔）委員，蜂谷委員，狩谷委員

【欠席者】吉岡委員，川上（敬）委員，早川委員，

【事務局】企画課：服部補佐，永田係長，生井主任

【その他】交通量調査委託業者 アイワ技研株式会社 河野常務取締役，吉田測量士

1 開会（事務局 司会）

2 会長あいさつ

会長

皆さん，こんにちは。

本日は，お忙しい中，地域公共交通会議にご出席いただきありがとうございます。また，日頃より，皆さま方におかれましては，地域公共交通についてご尽力いただき感謝申し上げます。

この地域公共交通会議ですが，昨年，町の公共交通を協議する場として再編されまして，7月の第1回会議において，利根町の状況を含め，町の長年の課題となっている「栄橋の渋滞」についての説明がありました。

町では，その栄橋の渋滞対策として，昨年9月から12月にかけて「若草大橋有料道路の通勤時間帯における無料措置」を実施し，若草大橋有料道路に車両を分散させて渋滞緩和を図る検証を行っております。

本日は，その無料措置の効果を検証するために実施した各種調査等の結果報告者分析報告がごございますので，皆様方には，忌憚のないご意見等をよろしく申し上げます。

3 議事

事務局（司会）

それでは、次第3 議事に移りたいと思います。議事進行につきましては、利根町地域公共交通会議設置要綱 第5条第1項及び第4項の規定により「会議は会長が招集し、その議長となる」とございますので、板谷会長に議長をお願いします。

板谷会長よろしくをお願いします。

会長

それでは、議長を努めさせていただきます。

次第3の議事、「若草大橋有料道路の通勤時間帯における無料措置」に関する報告及び検証について、事務局より説明願います。

事務局

※資料に基づき説明

会長

説明が終わりました。

皆さま、何か質問、ご意見等ございましたらお願いします。

委員

よろしいですか。

まず、交通量調査した日の天候を教えてくださいませんか。それと、無料措置を実施した期間ですが、栄橋の車両台数ですがあまり変化がないのですが、若草大橋有料道路は、かなり増えております。無料措置期間中、この2つの橋の合計台数は、措置前と比べ、総台数で増えているのですが、この増えた分は、どこから来たのか。分かれば教えてください。

あと、もう一つ、この措置期間中、台数は増えていないのですが、所要時間通過に要する時間は短くなっているこのあたりも理由が分かれば教えてください。

事務局

天候につきましては、8月19日、9月16日、12月16日は、晴れでございます。2月15日のみ、曇り、時々雨でございました。

若草大橋の車両台数が増えた分の車両がどこから来たのか、その理由でございますが、車両の流れがどこから来たのかは、アンケート調査結果からになります。車両増加分と所要時間の短くなった理由につきましては、今後、分析していきたいと思っております。

会長

私から、今の時間の件、このような理由かなというものをひとつ申し上げますと、今回、橋の速度が上がっております。これは、もともとの栄橋の通過車両が、一部、若草大橋に流れることで、それにより、栄橋の道路の速度が上がっているということで、これは、例えば、今まで、9時を過ぎて通過していた車が、9時前にゴールすることができ、車が流れたため増加したということが想像できます。単純に速度が上がれば、車両は、減るのではなく、速度が上がれば、一定までは、車は増えることが考えられます。

この資料を見ているかぎり、車両台数、所要時間結果からも、車両が流れ、一定の効果があつたと感じております。特に、所要時間が短くなった資料の結果からも利用者の渋滞緩和に効果があつたものと思われまます。

委員

今回の無料措置ですが、アンケート結果から見てみますと、橋の利用者ですが、利根町が約9%しか利用しておらず、ほとんどが、龍ヶ崎市民ということですが、今回の無料措置実験の予算が1千万円ということで、もし、無料措置を続ける場合、町の税金が龍ヶ崎市民のために使われたような形になりますが、今後どのような町は考えているのでしょうか。

事務局

今回、実施しました無料措置ですが、経費として、約1千万円かかっており、もし1年間この無料措置を実施する場合、約1千800万円かかることとなります。町では、無料措置実施に伴い、調査した結果から、先ずは、今後継続した無料措置には、さらに費用対効果を上げる必要があると考えておまして、また、アンケート調査結果から利用者のほとんどが、龍ヶ崎市民であることから、利根町が、単独で無料措置を実施することは、町民の理解を得ることは非常に難しいと考えております。このため、町では、費用対効果を上げるための、沿道環境の改善、無料措置の補填割合等を近隣市町に協力を求め、連携していくことが必要と考えております。

委員

渋滞の原因に、千葉県側、茨城県側の信号機について、例えば、時間差において、運転手の技術によっては、右折ができなく渋滞が発生してしまうことが挙げられます。今後、行政の連携だけでなく、信号機などの警察の連携、千葉県警、茨城県警において、信号機の調整など違った角度からも交渉が必要と思われまますがその点いかがですか。

事務局

栄橋の渋滞対策は、あらゆる面から連携していくこと必要だと考えております。この地域公共交通会議には、各分野の方がいらっしゃいますので、この会議において、様々な意見をいただき、必要に応じて、連携や協力をお願いしてまいりたいと思います。

会長

先ほどの信号機の調整につきまして、少し伺ってみたいのですが、調整は可能なのでしょうか。

委員

信号機の調整ですが、交通量調査等も必要ですが、県境ですので千葉県、茨城県において協議が必要で、その件については検討が必要と思われまます。また、一方が進めば、一方は渋滞するということがありますので、この場で即答することは難しいです。

会長

確かに、一箇所変えますと、いろんな方向に影響が出ますので、即答は難しいと思います。もし、調整可能ということでしたら、今後、両県での検討と地元の要望を含め、前向きに検

討いただければと思います。

委員

信号でよろしいでしょうか。茨城県側の信号と千葉県側の信号これらをうまくリンクできれば、もう少し流れが良くなるのかなと思います。茨城県側が青になって、2、3台行ったら、詰まってしまう。千葉県側が赤なので。もしその辺りの移動規制がうまくいけばと思いますので、その点の検討も同じ信号なのでよろしくをお願いします。

会長

他に何かございますか。

先ほど、事務局から、費用負担の話がありましたが、私も無料措置を仮に実施するのであるば、利根町だけで負担するのはどうかと思います。それは、便益の広がりからも、利根町よりも他の部分ほうが大きいと感じられるからでして、先ほどの信号機以上に広域的に議論が必要で、近隣の市町の意識共有が必要となります。私も問題提起として認識しておりますので、私からも龍ヶ崎市に少し話をさせていただきたいと思います。

会長

他に何かございませんか。特に何もございませんか。

それでは、今回の無料措置検証につきましては、資料の最後にもありますが、町としては、今後、若草大橋有料道路の千葉県側の道路延伸を含めた沿道環境の改善や無料措置の補填割合について、近隣市町と協議連携していくということでもよろしいでしょうか。

各委員

※異議なし

会長

ありがとうございました。町の今後の方向性や考え方につきましては、そのようにさせていただきますのでよろしくお願いします。

それでは、本日の議事はこの1件だけですのでこれで終了となります。皆さま、ご協力ありがとうございました。

事務局（司会）

板谷会長、ありがとうございました。

次に、次第の4 その他でございますが、何かございますか。

※事務局より連絡（事務連絡として来年度の協議事項（内容）について）

事務局（司会）

皆さまお疲れさまでした。

今、説明しましたとおり、来年度は、「デマンド交通」のふれ愛タクシーの利便性等について、協議してまいりたいと思いますので、引き続きご協力お願い申し上げます。

それでは、以上もちまして、「令和2年度第2回利根町地域公共交通会議」を終了いたします。

皆さま、お疲れさまでございました。